

令和元年度授業改善推進プラン

清瀬市立清瀬第四中学校第1学年

| | 学力調査から見えた課題(調査のない教科は授業における課題) | 授業改善のための具体策 |
|---------|--|--|
| 国語 | <ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて自分の考えを書き力をつけること。 目的に応じて文章を読み、内容を整理して書き力をつけること。 | <ul style="list-style-type: none"> 基礎的な知識である文法や漢字の学習を積み重ねるとともに読書に親しみ、語彙力をつけていく。 |
| 数学 | <ul style="list-style-type: none"> 基礎計算力がやや低い、特に分数・小数計算が苦手である。 公倍数と公約数を理解していない生徒が多い。 | <ul style="list-style-type: none"> 文章問題などは基本的に簡単な整数で扱えるように設定する。 公倍数や公約数は分数計算と直結する内容なので、授業内でフィードバックしながら確認していく。 |
| 社会 | <ul style="list-style-type: none"> 深い考察による事象の特徴を捉えること 地理的事象・歴史的事象を関連付けて捉えること | <ul style="list-style-type: none"> 様々な資料(年表、統計、図版、文献、写真など)を活用した学習の工夫 時系列に沿った整理、地理的条件などの整理から、地図や年表にまとめる 少人数による話し合い、個人の意思の表明することで深い考察を行う |
| 理科 | <ul style="list-style-type: none"> 関心をもって意欲的に学習に取り組み、課題を解決しようとする姿勢を育成する。 基礎的、基本的な知識、理解力を身につける。 観察、実験の結果から考察する力をつける。 | <ul style="list-style-type: none"> 身近な事象を話題にとり上げて、学習への関心を高め、グループ活動をとり入れ自ら考えて解決する機会を増やす。 小テストをくり返し行って知識の定着をはかり、理解を深めていく。 考察する項目を明確にし、表現のしかたを例示して一人ひとりがきちんと考えて記入できるようにする。 |
| 音楽 | <ul style="list-style-type: none"> 合唱授業においては、1つの教室でのパート練習に限界があり、各パート練習の集中を妨げている。また、基本的歌唱能力を高めるための工夫、声量の拡大が求められる。 意欲的に授業に参加し、表現などに積極的に取り組んでいるが、感じたことや、表現に置いて工夫したポイントを言葉にする力が弱い。 | <ul style="list-style-type: none"> パート練習では、準備室を開放するなどし、各パート練習が、静かで集中できる環境で行えるよう整備する。 毎時の発声練習などを習慣化し、基本的歌唱能力を高める。 他教科とも連携し、感じたことを言葉にする能力、他の意見を参考に自分の意見をまとめる能力を養う。 |
| 美術 | <ul style="list-style-type: none"> 多くの生徒が興味を持って取り組んでいるが、ごく一部の生徒に小学校での完成経験のない生徒がおり、制作の進度に差がついてしまう。 基本的な道具(絵具・彫刻刀・はさみ・カッターなど)の使い方などきちんとマスターさせ、無駄なストレスがなく制作に取り組めるようにしたい。 自分の作品や他の生徒の作品を鑑賞活動を活発にして大切に作る心情を育てたい。 | <ul style="list-style-type: none"> 制作が軌道に乗ったら、苦手意識のある生徒の個別指導を大切に、可能な限り差が出る前に放課後の補習などで差を縮める。 いろいろな道具を使う課題を用意し、家庭でなかなかできない道具を使う経験をさせたい。 制作の導入段階や、完成時の鑑賞活動を充実させる。 |
| 保健体育 | <ul style="list-style-type: none"> 1500m走がとでも遅い。6分を切る生徒が少ない。 グラフや資料を読み取り自分の考えを述べたり、記述したりすることが苦手な生徒が多い。 | <ul style="list-style-type: none"> 授業内で秋ごろから毎時間授業の頭に3分間走を取り入れて、持久力の向上に努める。 グラフの見方、資料の読み取り方を授業内で丁寧に。与えられた課題に対して、考えるクセをつけさせる。 |
| 技術・家庭 | <ul style="list-style-type: none"> 手指の巧緻性の低下 両手の共応する力の未獲得(例:技術…三角定規を二つ使えない、やっこなどによる効率の良いはさみ方を苦手としている。家庭…野菜を片手で抑え、片手で包丁を扱う。裁縫の技術等) | <ul style="list-style-type: none"> 事前の説明をさらに視覚的に理解しやすく工夫する。 ①教員による手本をより分かりやすい形で提示する。 ②ICT機器を活用し視覚的に提示する。 ③板書の工夫 ④ワークシートの工夫 |
| 外国語(英語) | <ul style="list-style-type: none"> 自分のこと、身近なことについて 表現できるように目指す。受容語彙は反射力をあげ、発表語彙は的確に表現できるように取り組ませる。 | <ul style="list-style-type: none"> 暗記で表現するのではなく、時間がかかっても即興で話す訓練を日々重ねる。 4領域の活動で80%以上占めるような授業をすすめる。 |
| 総合 | <ul style="list-style-type: none"> 意欲的・主体的に取り組む。 | <ul style="list-style-type: none"> 校外学習では事前学習を充実させ、意欲的に参加できるように、インターネットを利用して調べ学習をさせる。 |
| 道徳 | <ul style="list-style-type: none"> テーマを自分のこととらえ深く考えること。 | <ul style="list-style-type: none"> ホワイトボードなどを活用し、班やクラスで意見を共有・共感する。 |